

平成 27 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	NPO 法人 プラス・アーツ
活動テーマ	レッドベアサバイバルキャンプ



2015年6月21日(日)、今回で5回目の開催となる「レッドベア火育サバイバルキャンプ2015」を初のデイキャンプ形式で、「BOSIAI デイキャンプ in KOBE」と題して実施しました。阪神・淡路大震災当時も避難場所として使われていた「神戸海洋博物館」を会場に、親子72名がサバイバルデイキャンプに挑戦。ロープワーク体験や空き缶炊飯などのプログラムに加え、大阪ガスが取り組む「火育(ひいく)」のサバイバルプログラムを取り入れました。「火育」プログラムである「火おこし体験」では、はじめにマッチのつけ方を教わり火の大切さや、扱い方について学んだあと、「ひもきり式」という古代の火おこし方法にチャレンジ。その他にも災害時に生き抜く力と2つのソウゾウリョク(想像力・創造力)を身につける様々な体験プログラムを展開しました。

〈子どもたちの主体的な活動を促す仕組みとツール〉

サバイバルな技や知識を習得するともらえる技バッジシステムの導入により、子どもたちはバッジ獲得を目指し、積極的にかつ主体的にプログラムに取り組んでいました。また、午前中のプログラムで学んだことを午後のオリエンテーリングで再度行うことで復習効果が得られ、今回のキャンプで学んだ知恵や技を効果的に習得することができました。

〈企画・運営をとともにおこなうボランティアチーム〉

今回はサバイバルキャンプの企画から運営まで、神戸青年会議所メンバーとボランティアチーム「レッドベアサバイバルキャンプクラブメンバー」が協働で行いました。キャンプに向けて何度もミーティングを重ね、プログラムの企画と当日の運営を行ったことにより、担い手となるスタッフ育成にもつながりました。